

1. オルタナティブ教育 地域最先端を目指す教育



2. 地域創造学 長門市を知り、愛着と誇りを育む教育



つなぐ1 まち×ひと
愛着と誇りを

平成29年6月、市とともにキャリア教育の推進に取り組む株式会社ドワンゴは、活動拠点として市内に「長門市Nセンター」を設立しました。

同センターでは、中高生を対象とした現行の教育を補完する仕組みを創設し、本市ならではの教育プログラムを作り上げることを目標に、9月から2本の柱で活動を展開しています。

1つ目はドローンの操作やプログラミングの体験、動画編集や発信などを通して、今後必要とされるITスキルや新しいものを生み出す力を育む「**オルタナティブ教育**」、2つ目は市内企業や地域とともに市内ツアーやマッチングなどを行い、地域の資源や課題に関心を持ってもらう「**地域創造学**」です。

こうして教育の魅力化・ブランド化を図ることで、若者の定着率向上だけでなく、子育て世代の移住につながる効果が期待されています。

つなぐ3 かんこういん
マッチングと交流

■平成29年度の取組
NPO法人つなぐ(※)の設立準備委員会が8月に「女性活躍推進シンポジウム」を開催、3月には市内企業が直接学生にPRする「企業ガイダンス」を実施(詳細は下記参照)

■平成30年度以降の取組
職業体験のコーディネートなどマッチングイベントを開催し、市内就職を促進 ほか

つなぐ2 企業×ひと
産業の魅力発信

■平成29年度の取組
魅力的な企業の育成のため、長門商工会議所の主催で経営者や従業員のスキルアップを図るセミナーを実施

■平成30年度以降の取組
・ 地場産業の魅力や情報を集約して市内外へ発信
・ 若手社員のネットワーク構築
・ メンタルケアなどの相談体制の構築 ほか

人と情報をつなぐ拠点、9月オープン予定！ 地域しごとセンター (仮称)

仙崎にある事務所跡地を活用し、現在も改修が進む地上3階建ての拠点施設は、Wi-Fi環境・複合機・プロジェクターなどを完備し、情報発信や人材育成、新規創業者の活動拠点として整備します。

- 施設概要
- ・1階 コワーキングスペース
 - ・2階 シェアオフィス・学習拠点
 - ・3階 セミナー・イベントなどのフリースペース
- 所在地 長門市仙崎312-1

学生と市内企業をつなぐ 合同企業ガイダンス開催！

- 日時 3/11(日) 13:30～16:30
- 場所 ルネッサながと軽運動室
- 対象 中学生・高校生・保護者・学校教諭
- 参加企業 16社
- 申し込み 不要(参加無料)

3つの「つなぐ」を担い、事業を展開 NPO法人つなぐ(※)

平成30年度以降、本格的に3つの活動を推進するため、平成30年1月31日に「NPO法人つなぐ(※)」の設立総会が行われました。

約30人(総会時点)の団体・個人会員によって、行政や地元企業、学校や関係団体と連携して取組を進め、9月以降は地域しごとセンター(仮称)を活動拠点とし、さらなる事業展開を図ります。

- 所在地 長門市東深川1321-1(長門商工会議所内)
- 公式サイト <https://www.facebook.com/Nbase0706/>
- 問い合わせ NPO法人つなぐ(※) Tel. 23-3200



※平成30年3月末認可予定



人口減少に立ち向かう 未来を変える3つの挑戦

商工水産課商工振興室 Tel. 23-1136

「働く場がない」は 本当？

高校生には「届いていない」

平成28年度に市内の高校・高校生・企業にヒアリングを行ったところ、高校生には、労働条件が市外と比較して悪いというイメージが先行し、地元企業の情報知られていないだけでなく、地域資源や観光資源を把握できていないなど、本市の魅力がほとんど届いていないことが浮き彫りになりました。

また、大津緑洋高校日置校舎・水産校舎では、本市の基幹産業である農業や漁業、食品加工業などと直結した教育環境がありながらも、地元企業への就職に結びついていないことが分かりました。

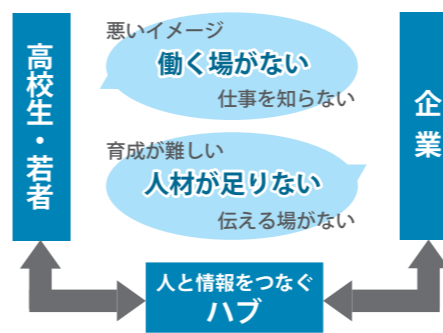
人口減少が進む長門市において、特に深刻な課題が経済活動を支える「生産年齢人口(15～64歳)」の減少です。主な要因としては、高校卒業後の地元就職率の低迷と若年層の市外への流出が挙げられます。

今回は、若い世代が望む形で地元への就職・創業が実現できる未来に向けて、平成29年度から動き始めた3つの「つなぐ」挑戦を紹介します。

企業は「伝えられていない」

市内企業においては、古いイメージを払拭し、若者へ企業の魅力を発信する場を求めていることが分かりました。また、求人に對して十分な応募がなく、早期に離職する従業員もいるなど、人手不足に苦しんでいる実情を正しく伝えられていないことが課題となっています。

ハブのイメージ



「つなぐ」ことで 未来を変えよう

平成29年度から、産官学労金が連携して、人や企業などをつなぐハブとなる動きが始動。地場産業の魅力ややりがいなどを伝え、課題の解決を目指します。

3つの「つなぐ」挑戦

平成29年度は「まち×ひと」「企業×ひと」「かんこういん」と3つの「つなぐ」取組を展開。高校生には、本市への愛着と誇りを育む教育プログラムを取り入れ、企業には、経営者や従業員のスキルアップを図るセミナーを実施。その上で、地元企業と若者を結びつけ、定住や就職につなげるためのマッチング機会の充実に取り組みしました。

新たな拠点と運営主体

平成30年度からは、NPO法人つなぐ(※)が中心となり、3つの「つなぐ」事業を展開。拠点となる地域しごとセンター(仮称)も、9月オープンを目指して現在整備が進められています。具体的な取組や施設概要は次ページで紹介しています。